

塗装仕様書

1. 塗装仕様 : 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

2. 適用 : モルタル面・プラスター面(新設)

3. 適用種別

工程	種別
モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ	B種
合成樹脂エマルションペイント塗り	B種

4. 使用材料明細

規格名称	規格	塗料名
建築用下地調整用塗材 C-1	JIS A 6916	—
合成樹脂エマルションパテ	JIS K 5669	—
合成樹脂エマルションシーラー	JIS K 5663	シント一水性Mシーラー
合成樹脂エマルションペイント 1種	JIS K 5663	ページGエコ 各艶

5. 塗装仕様

工程	素地ごしらえ・塗料名 (希釀剤)	希釀率 (%)	塗付け量 (kg/m ²)	塗装間隔 (20°C)	塗装方法
素地ごしらえ	乾燥	素地を十分に乾燥させる。			
	汚れ、付着物除去	素地を傷つけないように除去する。			
	吸込止め	JIS K 5663合成樹脂エマルションシーラー(シント一水性Mシーラー)を全面に塗り付ける。			
	穴埋め、パテかい	JIS A 6916 建築用下地調整塗材(C-1)、又は JIS K 5669 合成エマルションパテ(耐水形)で、ひび割れ、穴等を埋めて、不陸を調整する。			
	研磨紙づくり	パテ乾燥後、研磨紙P120~220で表面を平らに研磨する。			
1 下塗り	シント一水性Mシーラー	—	0.07	3時間以上	はけローラー
2 中塗り	ページGエコ 各艶 (水道水)	10~20	0.10	3時間以上	はけローラー
3 上塗り	ページGエコ 各艶 (水道水)	10~20	0.10	—	はけローラー
注意事項	*塗り付け量は被塗装面単位面積あたりの塗料材料(希釀する前)の付着質量です。 *塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法によって増減することがあります。 *所要量(被塗装面単位面積あたりの塗料材料(希釀する前)の使用量)はロス分も含むため、塗付け量より多くなります。 *適用種別が特記に示されている場合は、特記に準拠してください。 *ご使用の際にはカタログ及び説明書を必ずご参照ください。 *合成樹脂エマルションペイント塗りの詳細につきましては、公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 平成31年度版を参照ください。				